

2 費目別指数の動き

2-1 食料

食料は99.5となり、前年に比べ0.4%の下落となった。

果物が3.3%、肉類が1.0%、魚介類並びに野菜・海藻が0.7%、調理食品が0.1%の上昇となった。

一方、酒類が3.0%、飲料が2.0%、穀類が1.7%、乳卵類並びに油脂・調味料が1.3%、菓子類が1.1%、外食が0.7%の下落となった。

生鮮食品についてみると、生鮮魚介が0.2%、生鮮野菜が0.5%、生鮮果物3.7%と、全ての費目が上昇となったため、生鮮食品全体では1.0%の上昇となった。

表4 食料の中分類別前年比の動き

項目	22年	23年	24年
食料	-0.5	-0.2	-0.4
穀類	-3.7	0.8	-1.7
魚介類	2.5	1.0	0.7
肉類	3.9	-2.0	1.0
乳卵類	0.3	0.1	-1.3
野菜・海藻	2.5	0.0	0.7
果物	-6.4	-3.3	3.3
油脂・調味料	0.5	-1.7	-1.3
菓子類	-1.4	-0.5	-1.1
調理食品	-2.6	-0.4	0.1
飲料	-1.7	0.3	-2.0
酒類	-3.2	-1.4	-3.0
外食	-1.5	1.1	-0.7
生鮮食品	1.8	0.2	1.0
生鮮魚介	4.3	1.8	0.2
生鮮野菜	4.1	0.5	0.5
生鮮果物	-6.5	-3.4	3.7

図7 食料指数の月別の動き

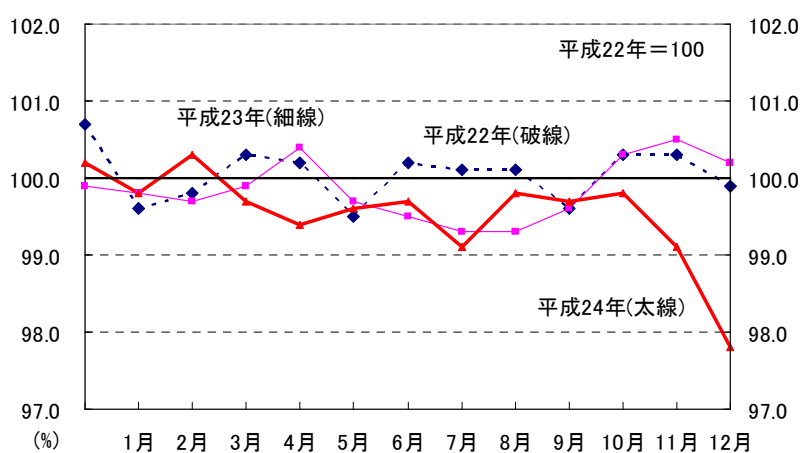


図8 生鮮食品指数の月別の動き

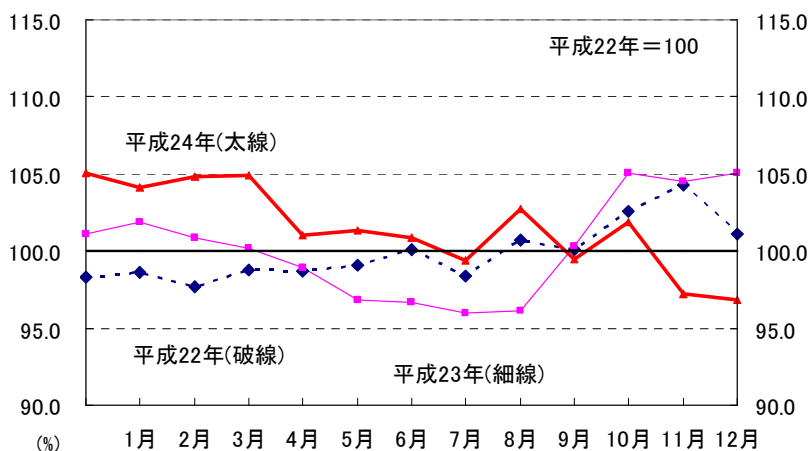


図9 生鮮魚介指数の月別の動き

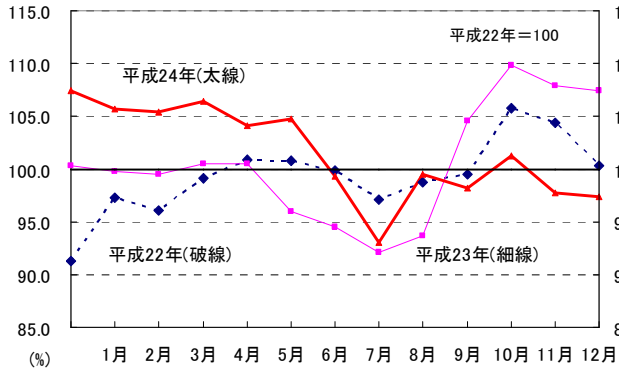


図10 生鮮野菜指数の月別の動き

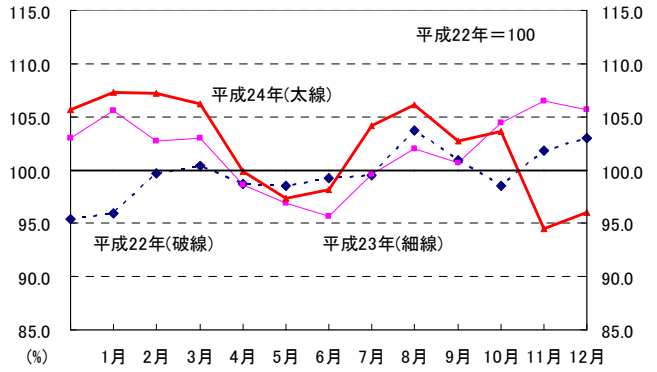
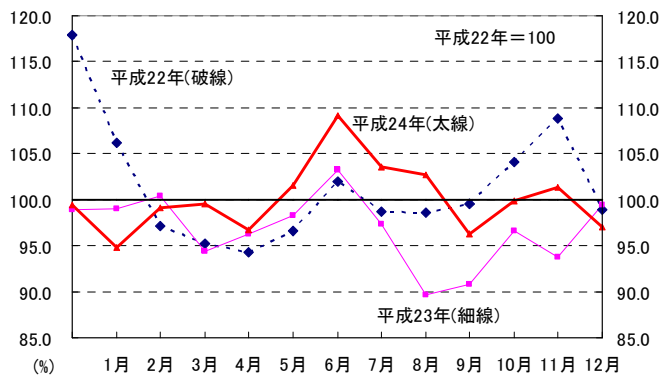


図11 生鮮果物指数の月別の動き



2-2 住居

住居は99.0となり、前年に比べ0.4%の上昇となった。

内訳をみると、家賃と設備修繕・維持がそれぞれ0.4%の上昇となった。

なお、持家の帰属家賃を除く家賃は0.6%の上昇となった。

図12 住居指数の月別の動き

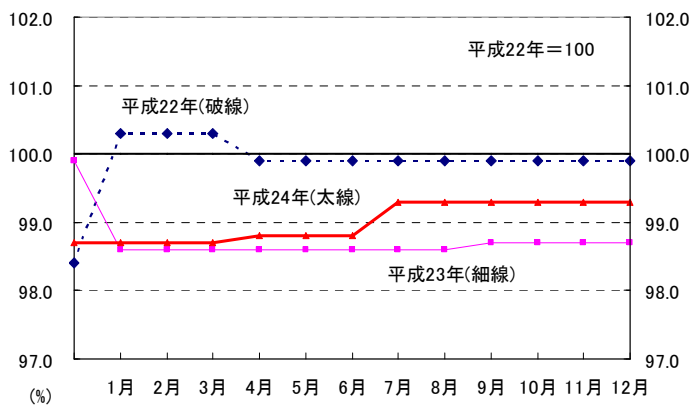


表5 住居の中分類別前年比の動き

項目	22年	23年	24年
住居	1.1	-1.4	0.4
家賃	1.4	-1.5	0.4
設備修繕・維持	-0.9	0.2	0.4
持家の帰属家賃を除く住居	0.4	-0.2	0.5
持家の帰属家賃を除く家賃	1.4	-0.5	0.6

2-3 光熱・水道

光熱・水道は105.3となり、前年に比べ3.2%の上昇となった。

内訳をみると、ガス代が4.4%、電気代が3.5%の上昇となったほか、上下水道料も1.4%の上昇となった。また、他の光熱については、上昇幅は縮小したものの、引き続き灯油の値上がりにより2.1%の上昇となった。

図13 光熱・水道指数の月別の動き

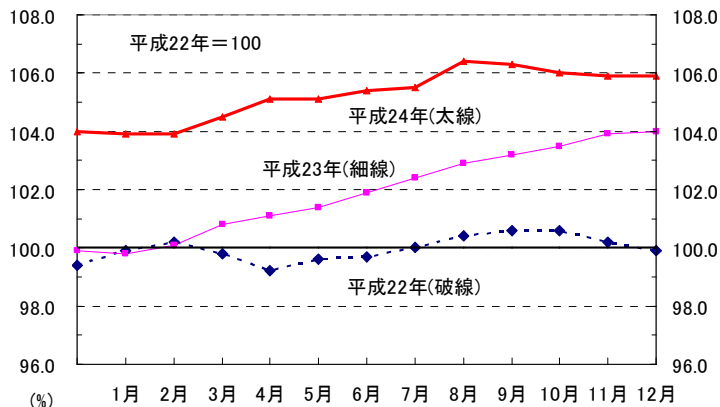


表6 光熱・水道の中分類別前年比の動き

項目	22年	23年	24年
光熱・水道	-1.3	2.1	3.2
電気代	-2.3	1.9	3.5
ガス代	-4.0	1.9	4.4
他の光熱	14.9	15.8	2.1
上下水道料	0.0	0.0	1.4

2-4 家具・家事用品

家具・家事用品は94.7となり、前年に比べ2.5%の下落となった。

内訳をみると、家庭用耐久財の下落幅が拡大し、9.6%の下落となったほか、寝具類が3.3%、室内装備品が0.9%、家事サービスが0.3%、家事用消耗品0.2%の下落となった。

一方、家事雑貨は4.8%の上昇となった。

図14 家具・家事用品指数の月別の動き

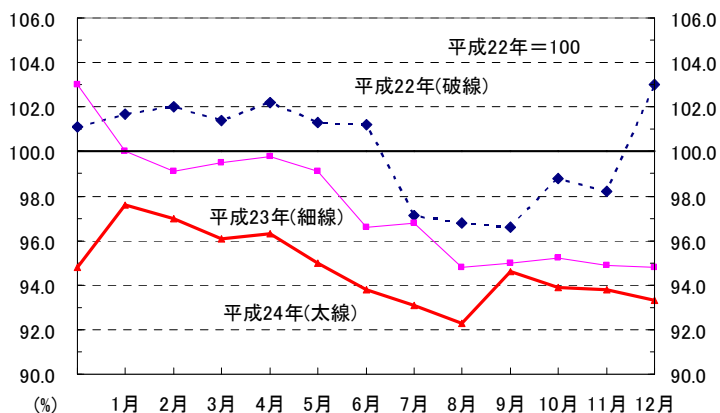


表7 家具・家事用品の中分類別前年比の動き

項目	22年	23年	24年
家具・家事用品	-2.4	-2.9	-2.5
家庭用耐久財	-3.2	-7.8	-9.6
室内装備品	-7.7	4.4	-0.9
寝具類	0.5	-2.8	-3.3
家事雑貨	-1.0	-0.4	4.8
家事用消耗品	-4.5	-0.6	-0.2
家事サービス	0.0	-0.8	-0.3

2-5 被服及び履物

被服及び履物は97.4となり、前年に比べ0.1%の下落となった。

内訳をみると、衣料が1.0%、履物類が1.4%の上昇となったものの、シャツ・セーター・下着類は0.9%、他の被服類は3.9%の下落となった。被服関連サービスは前年と同水準となった。

なお、衣料のうちでは和服が2.2%の下落、洋服が1.1%の上昇となり、シャツ・セーター・下着類のうちではシャツ・セーター類が1.4%の下落、下着類が0.4%の上昇となった。

図15 被服及び履物指数の月別の動き

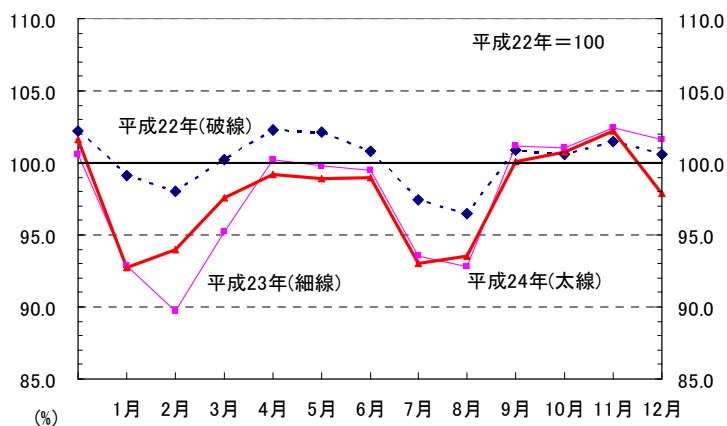


表8 被服及び履物の中分類別前年比の動き

項目	22年	23年	24年
被服及び履物	-1.2	-2.5	-0.1
衣料	-4.9	-4.5	1.0
和服	-8.6	-4.0	-2.2
洋服	-4.4	-4.5	1.1
シャツ・セーター・下着類	2.2	-0.6	-0.9
シャツ・セーター類	3.7	-1.1	-1.4
下着類	-1.8	0.7	0.4
履物類	3.2	-0.8	1.4
他の被服類	0.5	-3.9	-3.9
被服関連サービス	0.5	0.0	0.0

2-6 保健医療

保健医療は99.1となり、前年に比べ0.4%の下落となった。

内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品が2.1%、保健医療用品・器具が0.6%の下落となり、保健医療サービスは0.4%の上昇となった。

図16 保険医療指数の月別の動き

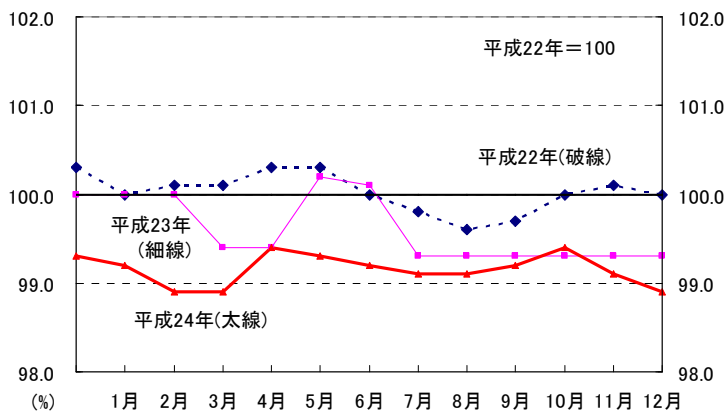


表9 保健医療の中分類別前年比の動き

項目	22年	23年	24年
保健医療	-1.2	-0.4	-0.4
医薬品・健康保持用摂取品	-1.5	-1.9	-2.1
保健医療用品・器具	-6.0	0.7	-0.6
保健医療サービス	0.2	0.0	0.4

2-7 交通・通信

交通・通信は101.3となり、前年に比べ0.2%の上昇となった。

内訳をみると、ガソリンの値上がりにより自動車等関係費が0.7%の上昇となった。

一方、交通は0.1%、通信は0.5%の下落となった。

図17 交通・通信指数の月別の動き

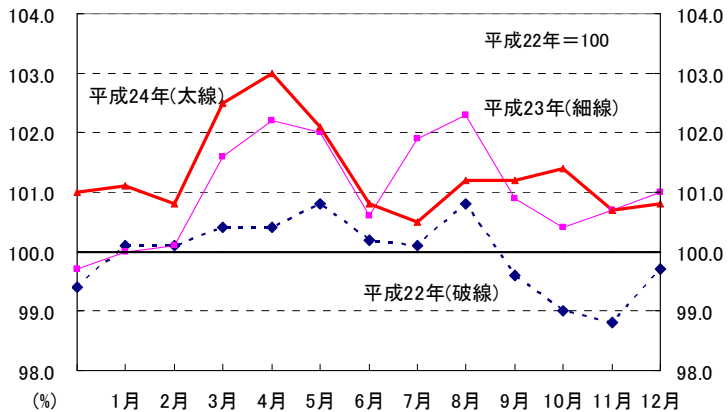


表10 交通・通信の中分類別前年比の動き

項目	22年	23年	24年
交通・通信	0.8	1.1	0.2
交通	-1.5	1.9	-0.1
自動車等関係費	1.8	2.0	0.7
通信	-0.5	-0.7	-0.5

2-8 教育

教育は97.1となり、前年に比べ0.1%の上昇となった。

内訳をみると、授業料等が0.9%、教科書・学習参考教材が1.7%の上昇となった。

一方、補習教育は1.0%の下落となった。

図18 教育指数の月別の動き

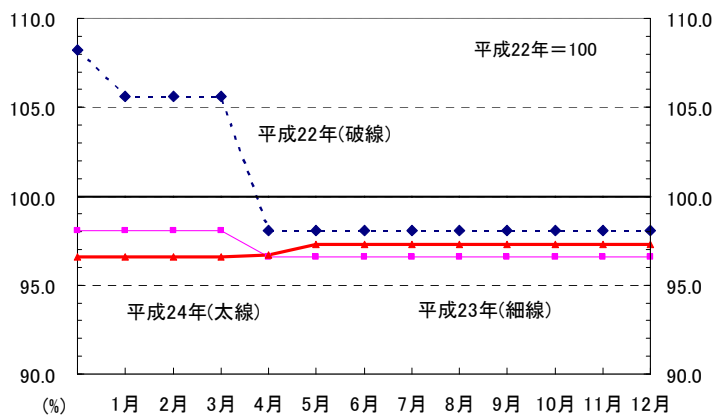


表11 教育の中分類別前年比の動き

項目	22年	23年	24年
教育	-8.0	-3.0	0.1
授業料等	-9.5	-3.2	0.9
教科書・学習参考教材	0.9	0.0	1.7
補習教育	-2.7	-2.9	-1.0

2-9 教養娯楽

教養娯楽は96.6となり、1.7%の下落となった。

内訳をみると、前年から下落幅は縮小したものの、引き続き液晶テレビなどの下落により教養娯楽用耐久財が9.4%の下落となったほか、教養娯楽用品は0.6%、教養娯楽サービスは0.9%の下落となった。

一方、書籍・他の印刷物は0.3%の上昇となった。

図19 教養娯楽指数の月別の動き

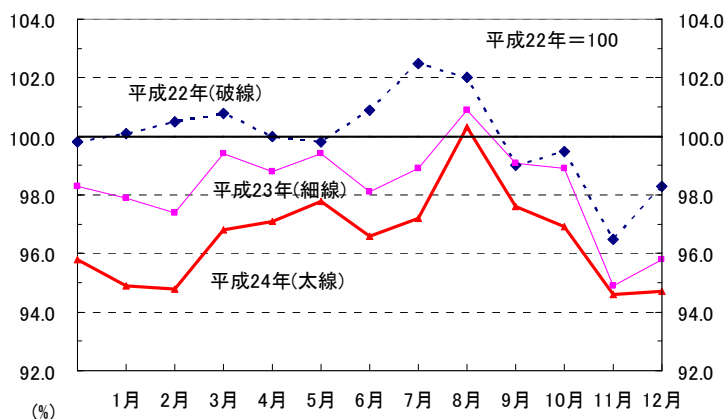


表12 教養娯楽の中分類別前年比の動き

項目	22年	23年	24年
教養娯楽	0.0	-1.7	-1.7
教養娯楽用耐久財	-13.6	-19.9	-9.4
教養娯楽用品	2.4	-1.3	-0.6
書籍・他の印刷物	0.1	0.2	0.3
教養娯楽サービス	0.3	2.5	-0.9

2-10 諸雑費

諸雑費は103.4となり、前年に比べ0.4%の下落となった。

内訳をみると、理美容用品が1.4%、身の回り用品が0.6%、他の諸雑費が0.1%の下落となった。

一方、理美容サービス、たばこはそれぞれ前年と同水準となった。

図20 諸雑費指数の月別の動き

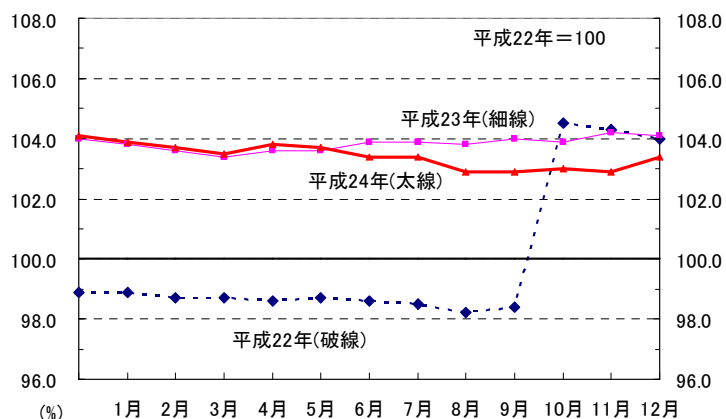


表13 諸雑費の中分類別前年比の動き

項目	22年	23年	24年
諸雑費	2.2	3.8	-0.4
理美容サービス	0.0	0.0	0.0
理美容用品	-0.7	-2.4	-1.4
身の回り用品	5.2	-1.7	-0.6
たばこ	9.6	26.2	0.0
他の諸雑費	1.8	6.1	-0.1